

# 教えて！まちの話題 すみだ見聞録



身近なまちの話題を紹介する「すみだ見聞録」第2弾。それでは早速、今回寄せられた話題を紹介します。

墨田区長  
山本 亨

## アスリートから学ぶ人権

区立吾嬬第二中学校で、地域の方も参加する人権教育講演会を開催。講師は、車いす陸上競技で過去3度のパラリンピックと2度の世界選手権に出場した千葉祇暉さん。様々な立場の人が気持ちよく幸せに過ごすためには、相手の立場に立って考え、察し、行動することが肝要というメッセージが伝わる、素晴らしい講演会でした。



(区内在勤の西川由哲さんより)



未来の「すみだ」が、誰もが住みやすいまちとなるよう、生徒の皆さん一人ひとりが行動する第一歩となったようですね。

## 「安兵衛公園」でつながる絆

5月に「富澤信明先生と赤穂義士『凱旋の道』を歩く in 大江戸 Part.3」と題したツアーが開催され、新潟県新発田市からの参加者が安兵衛公園に立ち寄りられました。以前、「両国春のまちブラ」とコラボして行われた安兵衛公園のお披露目において、新発田の皆さんが地元の物産を手伝い、助太刀に駆けつけていただいたことに私たちも感激した思いもあり、地域の町会長をはじめ有志の方々と親交を深めました。(立川在住の本田守孝さんより)



まさに「人つながる 墨田区」ですね。このようなつながりを今後も大切にしていってください。



## いざという時のために！要配慮者の救出訓練に挑戦！

わが石原三丁目町会の今年の防災訓練では、災害時に自力で避難することが困難な要配慮者の方を見逃さないため、新たな試みにチャレンジ。身体に重度の障害のある方に協力していただき、今回導入したベルト式の救護用タンカを使った救助を実践。この後、子どもたちにもロープの使い方などを体験してもらうなど、盛りだくさんの訓練となりました。



(石原在住の伊藤 林さんより)



非常に素晴らしいですね。大規模災害の発生時には、地域の方々を中心とした「共助」の力が重要な役割を担います。

## 皆さんの身近な“まちの話題”をお待ちしています！

**【募集内容】**皆さんの活動や、地域の身近な出来事などをまとめた原稿(150字程度)と写真(1、2枚) \*原稿には、題名、その時の様子、撮影の日時・場所を記載 **【応募方法】**原稿・写真と、コーナー名・住所・氏名・電話番号を直接または郵送、Eメールで随時、〒130-8640 広報広聴担当(区役所6階) ☎5608-6223・✉OSHIRASE@city.sumida.lg.jpへ \*写真は▶直接・郵送=A4サイズに出力するか、jpeg形式でCD-Rに保存 ▶Eメール=jpeg形式で添付(1通あたり3MB以内) \*10月1日号掲載分の締切りは9月1日(必着) **【注意事項】**▶被写体に人物が含まれている場合は、肖像権の侵害等が生じないように、ご本人(未成年の場合は親権者)の了承が必要 ▶原稿や写真と一緒に氏名も掲載 ▶応募された写真および原稿は区ホームページ等、他媒体で使用する場合あり ▶応募された写真および原稿は、紙面への掲載にあたり、一部手直しをする場合あり \*詳細は問い合わせるか、区ホームページを参照

# 夢

## 五輪の舞台で活躍する メイドインすみだ

墨田区長  
山本 亨

このほど、新たな墨田区基本計画を策定しました。策定にあたっては、区議会や区民の皆様をはじめ多くの方々のご意見等を反映させていただきました。今後、新基本計画に掲げる「暮らし続けたい 働き続けたい 訪れたい」まちの実現に全力で取り組んでいきます。

さて、いよいよ開幕が目前に迫ったリオデジャネイロオリンピック。新体操の団体選手に、両国中学校卒業の横田葵子さんが選ばれました。横田選手をはじめ、日本代表選手たちに心からエールを送りましょう。

世界トップクラスの選手がしのぎを削るオリンピックでは、すみだのものづくりの技術が選手や大会を支えていることをご存知でしょうか。

その一つが競泳用の水着です。平泳ぎ日本代表の女子選手が着用する水着は、区内企業がライセンス生産しています。また、過去6回のオリンピックで使用されたウエイトリフティングのバーベルもメイドインすみだです。

いずれも、それぞれの企業が世界有数の技術を有しているからこそ成し得た成果です。さらには、4年後の東京オリンピックに向けて競技用カヌーを開発する取組にも、区内企業が参加しています。

世界のひのき舞台上、すみだの製品を使用した選手の皆さんの活躍するシーンがたくさん見られることを期待しています。

また、来年2月の東京マラソンは、墨田区内を走るコースへの変更が実現しました。東

京オリンピックでも、聖火リレーとマラソンコースの区内誘致に向けて、区民の皆さんと共に機運を盛り上げていきたいと思っています。



墨田区でフィールドワークを行う早稲田大学の学生たちと、今の、そして将来のすみだについて語り合いました。